

リーダーズ研修

体罰を防ぐチームの育成を目指して



福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ科学科は、学科設立から10年が過ぎ、地域社会に貢献できる学科を目指しています。また教育・健康・スポーツ指導の専門家を育成するべく、人材教育には特に力を入れています。

現在、学校教育でのクラブ活動やスポーツ指導場面における体罰・暴力は社会的な問題であり、その根絶に向けての取り組みが必要です。そこで本学科では「リーダーズ研修」と称し、学内部活動のリーダー及び指導者が様々な分野から体罰を深く理解し、実践を通して体罰を根絶

する手法を学ぶ場を設けました。お招きする学外講師は各分野の第一線で活躍されている研究者・教育実践者です。本学科教員も研修をサポートし、体罰を防ぐチームの育成を目指します。

この研修を教育関係者、部活動指導者、選手、地域の皆様方と共有したいと考えております。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

2016年

- 9月29日(木) 『スポーツと心理』 【講師】阿江 美恵子(東京女子体育大学)
- 10月20日(木) 『スポーツとメディア』 【講師】篠原 嶺(生駒市立光明中学校)
- 11月24日(木) 『スポーツと教育』 【講師】松田 広(福山平成大学)
- 12月15日(木) 『スポーツと倫理』 【講師】林 芳紀(立命館大学)

2017年

- 1月26日(木) 『体罰の防止をめざして(全体総括と各クラブの取り組み)』

時間 16:15 ~ 18:00

場所 福山平成大学3号館 3102

定員 50名 ※事前申込み者を優先させていただきます

**参加費
無料**

- 主催：福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ科学科 ■共催：広島健康スポーツ科学研究会
■後援：広島県教育委員会／福山市教育委員会／府中市教育委員会／福山市体育協会／天野スポーツ振興財団

お申込み・お問い合わせは

- お申込みは福山平成大学ホームページの申込専用フォーム又は、ファックスにてお願いします。
- お問い合わせはメールにてお願いします。

福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ科学科

FAX: 084-972-7771

E-mail(武田守弘): morihiro@heisei-u.ac.jp

福山平成大学

検索



講師紹介

■ 阿江 美恵子 (あえ みえこ)

東京女子体育大学 体育学部体育学科 教授

日本体育学会副会長、同体育心理学専門領域会長

専門分野は体育心理学、スポーツ心理学（キーワード：スポーツ社会心理、スポーツ集団、女性スポーツ）。

指導者の暴力や運動部の指導を題材とした学校体育活動における指導の在り方を研究している。

昨年度の日本体育学会では、体罰・暴力根絶特別委員会の取り組みとして、「体育・スポーツにおける暴力指導の抑止と指導者教育」－各専門領域からの提言と現職教員・体育系大学学生への教育－として発表を行っている。

■ 篠原 嶺 (しのはら りょう)

奈良県生駒市立光明中学校・国語科教諭（教職修士）

日本教育学会、表現学会、日本国語教育学会、全国大学国語教育学会

専門種目は硬式野球であり、これまで硬式野球部の指導経験がある。中学校・高等学校における運動部活動指導者は、必ずしも自身の専門種目の指導に携われるとは限らず、現在では女子バレーボール部の顧問として従事している。体育・スポーツの専門家である保健体育科教員と他教科の教員、さらには外部指導者との認識の違いは、現在の運動部活動研究において注目を集めている。そこで、体育・スポーツ領域外における「部活」指導およびそのシステムに対して研究しており、新たな視点からの情報を提供する。また、専門領域は国語科教育であるが、批判的思考力や表現に関わる研究を行っており、新聞を用いた教育実践活動（NIE）も行っている。

■ 松田 広 (まつだ ひろし)

福山平成大学 福祉健康学部 健康スポーツ科学科 准教授

日本体育学会、日本スポーツ教育学会、日本体育科教育学会、スポーツ政策学会、日本生徒指導学会

専門分野は保健体育科教育学、スポーツ教育学

具体的内容として、高等学校の「体育理論」領域、武道「柔道」領域の教材研究をはじめ、科目保健・科目体育の授業づくりの研究を行なっている。また、一昨年度の日本体育学会では、「高等学校「体育理論」領域における授業作成の試みに関する研究」を発表している。

■ 林 芳紀 (はやし よしのり)

立命館大学文学研究科哲学専修 准教授

日本倫理学会、関西倫理学会、日本生命倫理学会、日本体育・スポーツ哲学会

ジョン・ロールズの社会正義論を中心とした現代英米の規範倫理学ならびに政治哲学、および、生命倫理学・スポーツ倫理学等の応用倫理学を専門に研究している。スポーツ分野ではスポーツを哲学的、倫理的に研究する先駆的研究者として論文、事典項目を執筆するなど、哲学・倫理学分野を超えて研究の領域を広げている。

お申込み用紙



084-972-7771

ふりがな	
お名前	
メールアドレス <small>(必須)</small>	
電話番号 <small>(*)</small>	

それぞれご希望の方へ○をお願いします。

2016

◎ 9/29 参加・不参加

◎ 10/20 参加・不参加

◎ 11/24 参加・不参加

◎ 12/15 参加・不参加

2017

◎ 1/26 参加・不参加

※現時点でのご予約で結構です。

※最終研修前日まで、申込み可能です。

*メールアドレスをお持ちでない方のみご記入ください